

マダニに注意!

マダニに咬まれて感染する「重症熱性血小板減少症候群」の患者が高知県内で発生しています。

過去には感染に関連した死亡事例も起こっています。

マダニによる感染症を防ぐには、咬まれないことが重要です。

▼マダニとは

森林や草地などの屋外に生息する比較的大型のダニです。(吸血前3〜8ミリ、吸血後10〜20ミリ)また、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する場所に多く生息し、春から秋にかけて活動が活発になります。皮膚のやわらかいところ(腋の下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭など)を探して咬みつきます。

▼感染を防ぐには

①マダニに咬まれない

- ・ 森林や草むら、藪などに入るときには、長そで、長ズボンを着る、足を完全に覆う靴を履くなど肌の露出を少なくする。
- ・ 服の上や肌に虫よけスプレーを噴霧する。

・ 地面や草むらに直接座らない。

②野外で活動した後

- ・ からだや服にマダニがついていないか確認する。
- ・ 脱いだ服はすぐに洗濯するか、ナイロン袋に入れて口をしぼる。

▼咬まれてしまったら

・ マダニは自分で取らずに病院(皮フ科)で処置をしてもらってください。

無理にとるとマダニの一部が皮フの中に残り、化膿することがあります。

マダニに咬まれた恐れがあり、発熱などの症状がでた場合は医療機関を受診してください。

※すべてのマダニが病原体をもっているとは限りません。

病原体をもっているマダニに咬まれることで感染します。

■問い合わせ

高知県中央西福祉保健所
衛生環境課
☎088912212588

男女共同参画社会に向けて

「男女共同参画社会」とは、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。

男女共同参画と聞くと、女性の人材育成や登用、また、政策・方針の決定過程の場への女性の参画など、女性のためのことのように考えられる人もいるかもしれません。

もちろん、それらも男女共同参画を進める大事な取り組みですが、忘れてはいけないのは、男性が家庭や地域などへ参画していくことも、男女共同参画社会をつくる上で重要だということです。

最近では、「イクメン」の言葉に代表されるように、男性の中にも育児に積極的にかわりたいと希望する人が増えたり、地域活動に男性が参加するなど、男性の男女共同参画も進んできつつあります。

男性が育児に参加することで、男性も女性も、仕事の仕方や考え方が変わってくるのと同時に、お互いが協力し合うことで生まれる育児の楽しさもあるのではないのでしょうか。

これは一例ですが、男女共同参画社会の実現には、県民一人ひとりの理解や協力が重要です。家庭で、職場で、あるいは地域活動の場で、男女がともに参画し、多様な視点や意見を反映させることのできる社会を目指しましょう。

■問い合わせ

高知県県民生活・男女共同参画課
☎82319651
こちろ男女共同参画センター「ソール」
☎87319100

お知らせ

老人クラブに加入しませんか

町内には37の老人クラブがあり、4月1日現在の会員数は1,470人です。仲間の輪を広げるため会員を随時募集しています。

▼活動内容

健康ウォーキング、料理教室、スポーツ交流大会など

▼対象 60歳以上

■問い合わせ

町老人クラブ連合会事務局
(いの町社会福祉協議会)
☎89210515
ほけん福祉課
(すこやかセンター伊野内)
☎89313810

人権擁護委員無料相談のご案内

地区	今月の相談日	相談時間	開催場所
伊野	7月15日(水)	13:30~16:30	あつたかふれあいセンター(すこやかセンター伊野内)
本川	7月16日(木)	13:00~16:00	本川保健福祉センター

法務局相談窓口・問い合わせ

(祝休日を除く月~金曜日 受付8:30~17:00)

高知地方法務局人権擁護課 ☎822-3503

人権擁護委員の連絡先

氏名	住所	電話番号
杉本 寛子	いの町6466-5	☎892-2513
井上 晃	〃 加田599	☎892-1154
藤木 栄子	〃 天王南9-12-2	☎891-6684
金子 覺	〃 枝川826-1	☎893-2135
高瀬 科子	〃 波川610-3	☎892-3635
曾我 定子	〃 下八川丙644-1	☎867-3224
山本 周児	〃 戸中81-5	☎873-5422